

工事の安全を祈る

蔵之元漁港が新たに整備

9月30日、蔵之元漁港で蔵之元漁港^{みなと}整備交付金工事の起工式が開催されました。

起工式には、川添健長島町長をはじめ濱上實則長島町議会議員、工事関係者、地元関

係者など35人が参列して、工事の安全を祈りしめやかに神事が執り行われました。

地鎮の儀では、工事施工者が準備した起重機船から、川添健町長の合図で礎石が投入

され、水しぶきをあげました。

全体計画概要は、防波堤80㍎、物揚場100㍎、護岸（防波）20㍎、泊地898平方㍎、道路13㍎が整備されます。

今年の工事概要は、防波堤基礎部の捨石投入と、防波堤本体工の20㍎を整備する計画です。

今回、整備される蔵之元漁港は、天然の入り江になっており、湾内ではブリの稚魚（もじゃこ）の一時的な養殖と、台風や冬季風浪時には他港からの避難港としての役割を果たしています。

直会式で、中野尚允公民館長から「完成すると、水産業の活性化および漁業従事者の増加が見込まれると思います。また、避難した船舶同士の接触による事故が減少し、漁業振興と生活基盤の安定化が図られます」とお礼のあいさつがありました。



↑安全を祈願する



↑町長の合図のもと、礎石投入



↑町長、関係者が玉串を奉納されました